



かたぐい

学校教育目標

夢ふくらませ 心かがやく



令和5年度
第21号

2023. 6. 30

「6年：授業研究会(算数科)」

今年度最初の授業研究会(算数科)が、27日に行われました。授業を行ったのは、6年生ジャンプ学年です。

今回の授業は、『900円の本を買いました。この本の値段は、雑誌の値段の $\frac{5}{3}$ 倍です。雑誌の値段は何円ですか。』という問題をもとに、『倍を表す数が分数の場合も、もとにする量は「比べられる量÷分数倍」で求められることを、図や式から考える』ことをねらいとした学習でした。

授業の導入では、前時までの学習内容をもとに、「比べられる量÷もとにする量＝分数倍」「もとにする量×分数倍＝比べられる量」の計算を確認しました。その後で、提示された問題が何を求めなければいけないかについての確認です。もちろん『雑誌の値段』を求めることは、子どもたちはすぐにわかります。けれども、「それって、比べられる量？ もとにする量？」と問いかけると、子どもたちの反応は…ほぼ、半々といった感じです。

導入段階から、子どもたちの考えは分かれてきましたが、数直線図を活用しながら、子どもたち一人一人が自力思考とグループや全体での対話を通して『倍を表す数が分数の場合も、もとにする量は「比べられる量÷分数倍」で求められる』というまとめに到達できました。

当日、指導者として来てくださったお二人の指導主事からは、「今日の内容は中学生でも悩む内容だが、一人一人がしっかりと自分の考えをもって話し合いに参加している。」「自分たちで学びを進める力が育っている。」という講評をいただいています。

そして、何よりも、担任の先生も子どもたちも笑顔で、生き生きとした表情で授業に集中していること、「間違ってもいい」という雰囲気や安心感を生み出していること、それらを強く感じた授業でした。

※おまけ(お家の方々への問題です。)

『900円の本を買いました。この本の値段は、雑誌の値段の $\frac{5}{3}$ 倍です。雑誌の値段は何円ですか。』

この問題を、雑誌の値段をx円として、下記の数直線図に表してみてください。

